

# CONTENTS

- 01 Purpose
- 03 Value
- 05 目次・編集方針

## 07

### メッセージ

課題認識とコミットメント

- 07 トップメッセージ
- 13 CFOメッセージ
- 17 組織とCxOの組織管掌

トップメッセージでは、世界No.1の競争力を獲得し、車室空間全体の新しい価値を創造すること、職場風土改革、人的資本拡充など、選ばれ続ける企業となるための戦略や課題を示しています。CFOメッセージでは、先行き不透明な事業環境下でも、さらなる成長を遂げるための財務戦略などを紹介しています。

#### 掲載しているテーマ

成長戦略／成果／課題

## 18

### 価値創造ストーリー

サステナビリティを経営の中核に据えて

- 19 価値創造プロセス
- 21 サステナビリティマネジメント
- 23 マテリアリティ
- 25 「2050年環境ビジョン」達成のための取り組み
- 27 2025年中期経営計画
- 29 中期経営方針
- 33 KPIによる進捗フォロー
- 35 KPIのモニタリング強化

当社の存在意義と、どのように価値を提供していくか、道筋を示しています。マテリアリティ実現への施策を織り込み推進中の「2025年中期経営計画」、それを管理するKPIなど、当社グループが、持続可能な成長を遂げるための活動を説明しています。

#### 掲載しているテーマ

ビジネスモデル／経営戦略

## 36

### 経営資源とその強化

持続可能な成長に向けて

- 37 獲得してきた経営資源
- 39 3つの強み(経営資源)  
技術開発・ものづくり・人づくり
- 43 特集:新たな価値を生み出す経営資源
  - 44 日本
  - 47 米州
  - 49 中国
  - 51 アジア・オセアニア
  - 53 欧州・アフリカ
- 55 トピックス グローバルウィーク2023

これまで積み上げてきた「3つの強み」を競争力の源泉に、今後、経営資源として事業活動へどのように活用していくかを整理しています。また、さらなる成長を遂げるため、認識している課題と、その対応を示しています。特集では、世界各地で注力している、3つの強みを強化する取り組みや、サステナビリティに関する活動などを紹介しています。

#### 掲載しているテーマ

強みと課題／グローバルの成果／サステナビリティに関する活動

## 編集方針

### 発行にあたって

本レポートは、当社グループの可能性と中長期的な企業価値向上プロセスを深く理解いただくために、「財務情報」に加え、価値創出の源泉となる見えない価値「非財務情報」を統合的に紹介する「統合報告書」として編集しています。

本年度は、目指す企業像を示した「Vision」を実現するため、これまで以上に具体的な経営資源について記載しています。特集では、経営資源である3つの強みを強化する世界各地での取り組みや、サステナビリティに関する活動などを取りあげました。

当社グループの持続可能な成長を目指した取り組みを紹介することで、ステークホルダーのみならずと建設的な対話を深めるツールとなれば幸いです。

### 報告対象の範囲

本レポートは、日本および世界各地のトヨタ紡織グループを報告対象としていますが、取り組みごとに報告範囲は異なります。

本レポートでは、以下の表記で報告対象を使い分けています。

**トヨタ紡織グループ**：日本、米州、中国、アジア・オセアニア、欧州・アフリカ地域

**トヨタ紡織**：トヨタ紡織(株)

**日本地域**：トヨタ紡織(株)、日本子会社

**日本以外の地域**：米州、中国、アジア・オセアニア、欧州・アフリカ地域  
一部項目は個々に範囲を記載しています。

### 本レポートの対象期間

2022年4月1日から2023年3月31日まで。  
一部に当該期間外の活動内容を含んでいます。

## 56

### 事業ポートフォリオ

ビジネスモデルの変革を加速

- 57 取り巻く環境
- 59 事業ポートフォリオ戦略
- 61 シート事業
- 63 内外装事業
- 65 ユニット部品事業
- 67 新しい事業に向けた取り組み

中長期的な環境認識を踏まえ、今後の事業展開をどうとらえているか説明しています。さらに、事業ポートフォリオ戦略を遂行するための事業ごとのSWOT分析をもとに、施策を示しています。取り組みの進捗報告と、最新の開発事例や新規事業の研究開発成果にも焦点を当てています。

#### 掲載しているテーマ

環境認識／実行戦略／各事業の進捗、成果

## 68

### ガバナンス

強靱なグローバル経営基盤の確立

- 69 トヨタ紡織のコーポレートガバナンス
- 70 取締役会議長メッセージ
- 71 社外取締役対談
- 73 コーポレートガバナンス
- 81 役員一覧
- 83 コンプライアンス／リスクマネジメント

すべてのステークホルダーの立場を考慮し、透明かつ公正で迅速な意思決定を行っており、コーポレートガバナンスコードへも対応している状況などを報告しています。また、取締役会議長である会長から、取締役会運営と、尽力している企業風土づくりのメッセージを、社外取締役の瀬戸氏と伊藤氏に、当社のガバナンスの状況や課題、そして今後の展望について対談いただき、掲載しています。

#### 掲載しているテーマ

ガバナンスの状況、課題

## 86

### 補足資料・データ

- 87 マテリアリティ策定プロセス
- 89 沿革
- 91 過去の中期経営計画
- 93 10ヵ年サマリー
- 95 ビジネスドメイン
- 97 株式・企業情報

マテリアリティ策定プロセス、沿革や財務データなど、当社グループの価値創造を理解するのに必要な情報を補足として掲載しています。

#### 参考にしたガイドラインなど

- IFRS財団「IFRSサステナビリティ開示基準」
- VRF「国際統合報告フレームワーク」
- 経済産業省「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」
- GRIサステナビリティ・レポーティング・スタンダード(GRIスタンダード)
- ISO26000
- 気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)
- 環境省「環境報告ガイドライン2018年版」

#### 重要性と網羅性について

本レポートでは特に重要度の高い情報を中心に、読みやすくわかりやすく編集しています。ウェブサイト(<https://www.toyota-boshoku.com/jp/>)で詳細な情報を開示しています。



#### 予測情報に関する注記事項

本レポートには、トヨタ紡織グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想、見通しが含まれています。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見込みです。また、経済動向、自動車業界における激しい競争、市場需要、税制、法律、制度変更、天災などのリスクや不確実性を含んでいます。したがって実際の業績は当社の見込みと異なる可能性があります。

#### 業績に関する数字の表記について

本レポートに記載している業績に関する数字は、表示未満の位を切り捨てています。